

# 宮城のうたごえ協議会ニュース7号 2022.12.18 宮城のうたごえ協議会

〒983-0841 仙台市宮城野区原町3-8-3 内海ビル3階 FAX 022-762-5971

<日本のうたごえ全国交流会 in 愛知>

12月2~4日

## 若星Z☆ 一般の部Aで見事金賞に輝く！

若星Z☆ 小川弥由貴

『手と手』は、若星Zを思っ約3年前に書いた詩です。あの頃は小林先生もご存命で、マスクなんて普段は着けてなくて、今のような状況なんて考えもしませんでした。あれから時が経ち、メンバーの力でこの曲は成長し、二度も全国推薦を頂き、“日うた”ではついに金賞を頂くことが出来ました。

メンバーの「金賞もらったぞ!!」というLINEでその事実を知り、同室で宿泊したメンバーは驚きで叫び声と携帯を取り落とす音を上げ、私は、この曲がここまで育った日々思いを馳せました。決して平坦とはいえない道の中、メンバー、指導の先生、応援してくださる方々、多くの人々の手でこの曲は育ちました。その一つの完成形が、今回の“日うた”だったのだと思います。歌唱後、指導の松本先生の笑顔を見た瞬間、涙が溢れました。「心から楽しめた」と言葉をくれたメンバーもいました。私はこれからも、この経験を大切に、『手と手』を歌い続けていきます。



<見事金賞の若星Z☆>



<一般Bで銅賞に輝いた  
仙台合唱団>

<職場の部で銅賞に輝いたD51合唱団>



<みやぎ紫金草合唱団もがんばりました。>

- ◎ C57も小編成の部に出場し、銅賞を獲得しました。
- ◎ オリジナルコンサートには、「美空」のかとうまさよさん、佐々木伸介さんも出場しました。



<宮城教職員合唱団ひまわりもオリコンに。>

12月5・12日付けうたごえ新聞で創作センターによる第3回選考会の結果が発表され、コンプリオの「パンと塩とミルク」が準推薦曲となりました。武義和氏ら4氏の審査で95曲の中から選ばれました。

## 青い空は 青いままで 子どもたちに！（12・8行動）

12月8日（木）、「12・8ピースウォーク～戦争は絶対許さない！平和な世界を子どもたちに！」が行われた。元鍛冶丁公園でミニ集会、その後ピースウォーク、赤紙配りリレートークと2時間の行動だった。

宮城のうたごえは、ギター2人を含め7名の参加で、ミニ集会の前から「青い空は」「約束のうた」「折り鶴」などを歌って会場を盛り上げた。ミニ集会では、最後に「みんなであいましょう」のコーナーがあり、「青い空は」と「約束のうた」を参加者40名と一緒に歌った。

その後、一番町などをタペストリーやプラカードを持ってピースウォークしたが、手を振って返してくれる人が多かった。

赤紙配りリレートークの平和ビル前でも、タペストリーを持って何曲か歌ったり赤紙配りをしたりした。リレートークの最後に、参加者40名（ピースウォークと合わせて全体60名）と「青い空は」を歌って、平和の大切さを訴えた。（皆川多喜子記）

## 県母親大会オープニングで演奏

12月11日、フォレスト仙台を中心に県内各地をオンラインで結んで開催された県母親大会で、みやぎ紫金草合唱団、及び共に歌う合唱団の約50名がオープニングを飾りました。会場からは「平和への想いが伝わった」「紫の衣装やスカーフが素敵だった」「手話もよかった」などの感想が寄せられました。その後、うたごえ新聞でおなじみの伊藤千尋さんの講演、各団体の取り組みの報告があり、かつてのように一堂に会してとはいきませんでした。全県で1057名が参加しました。



## 「核兵器廃絶ネットワークみやぎ」に加盟しました！

11月25日（金）に、福祉プラザで「核兵器廃絶ネットワークみやぎ」の講演会と第1回総会が開催され、宮うたとして団体加盟を表明しました。「核兵器廃絶ネットワークみやぎ」は、昨年1月22日核兵器禁止条約発効の日発足しました。目的は、核兵器廃絶の署名等に取り組むことと被爆者の会の支援です。総会では、「うたごえは平和の力を合い言葉に、様々な集会や平和行進等に参加してきた。うたごえをどんどん活用してほしい。」と発言しました。（齊藤智子記）

## ◎ 核兵器禁止条約発効2周年・核廃絶ネット発足2周年 記念イベント

1月20日（金）14時～16時半 福祉プラザ2階 ふれあいホール

第1部 ピアノとチェロの演奏会（稲垣達也さん・塚野淳一さん）

第2部 講演会「未来は私たちの手のなか」（林田光弘さん）

ー核兵器のない世界をつかむために 私にできることを考えようー

## 「みやぎ紫金草合唱団20周年記念第7回コンサート」のお礼

みやぎ紫金草合唱団代表 岡村朋子

去る11月26日の「みやぎ紫金草合唱団20周年記念第7回コンサート」におきましては、宮うたの皆さんをはじめたくさんの方々に、演奏・運営・ご来場等のご支援をいただきまして、本当にありがとうございました。コロナ禍ということもあり、これまでにない課題を抱えての練習・開催となりましたが、お陰様で20周年の節目のコンサートを無事に、気持ちよく終えることができました。

コンサートへの取り組みを通して、私たちは、小林康浩さん亡き後も合唱団の方向性は変わらないことを皆で確認し合い、新たな一歩を踏み出す事ができました。そして、12月2日～4日には「日本のうたごえ交流会 in 愛知」「合唱発表会 職場の部」に参加し、入賞はなりませんでした。松本康子先生の指揮と高橋侑子さんのピアノ伴奏で、心を合わせて気持ちよく発表することもできました。

コンサートの最後は、「私たちには言葉があり歌がある。平和願い心つなぎ前を向いて歩き続けよう。」という歌詞の「じいちゃんのねがい」で締めくくりました。この気持ちをこれからも持ち続け、歌い続けていきたいと思っております。